

島根原子力発電所 2 号炉 津波による損傷の防止

論点 5「浸水防護重点化範囲の設定」

(コメント回答)

令和 2 年 10 月
中国電力株式会社

審査会合における指摘事項【論点 5】

■ 指摘事項（第869回審査会合）

No.	審査会合日	指摘事項の内容	回答頁
104	令和2年 6月25日	津波を流入させないための弁閉止機能を前提としている復水器水室出入口弁について、津波荷重に対するバウンダリの機能保持を担保するための耐津波設計における設計方針を説明すること。	P.2

審査会合における指摘事項に対する回答【No.104】

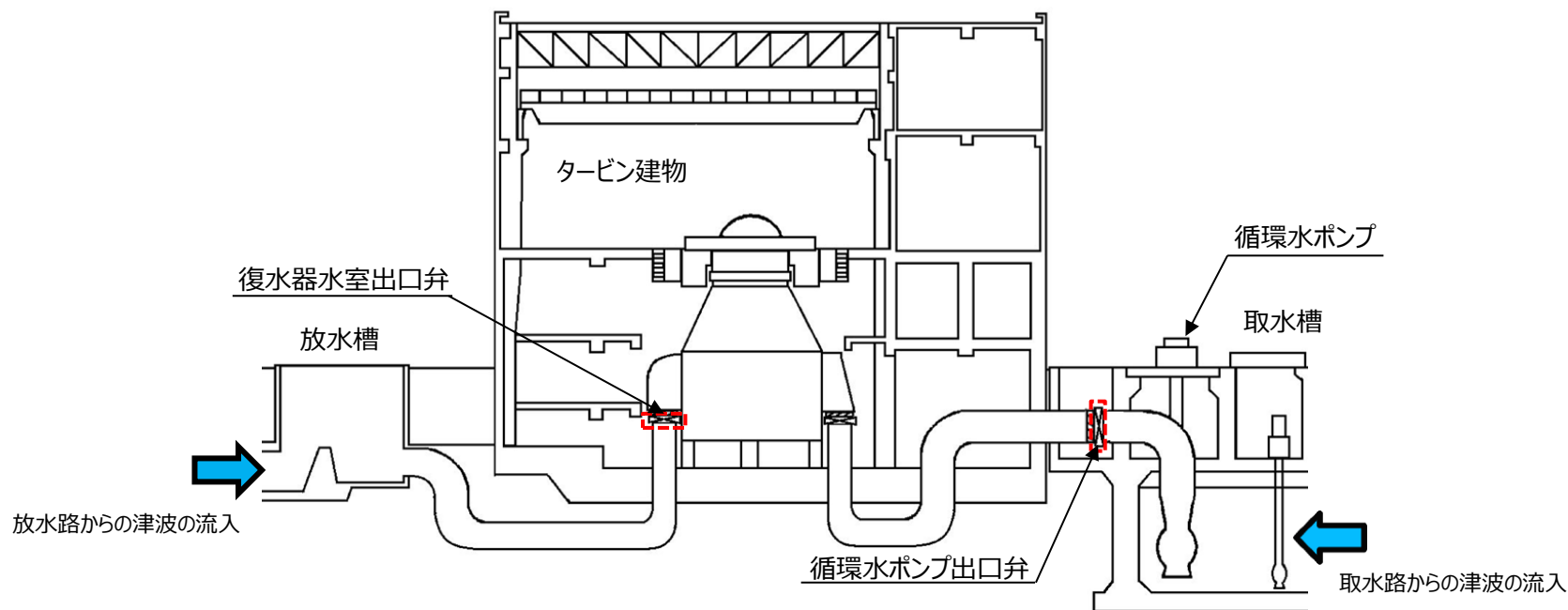
■ 指摘事項（令和2年6月25日 第869回審査会合）

【No. 104（論点5）浸水防護重点化範囲の設定】

津波を流入させないための弁閉止機能を前提としている復水器水室出入口弁について、津波荷重に対するバウンダリの機能保持を担保するための耐津波設計における設計方針を説明すること。

■ 回答

- タービン建物（復水器を設置するエリア）への津波の流入防止に期待しているインターロックによる閉止機能を有した弁は以下のとおり。
 - 循環水ポンプ出口弁（取水路からの津波の流入を防止）
 - 復水器水室出口弁（放水路からの津波の流入を防止）
- 当該弁は津波襲来前に閉止しているため、津波による荷重が作用することから、津波時にも閉止状態を保持できる設計とし、評価方法等については、詳細設計段階で説明する。



循環水ポンプ出口弁及び復水器水室出口弁の設置位置概要